

研究報告書（分担者）

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）  
（総括 **分担**）研究報告書

聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育手法の開発等に資する研究

研究分担者 三浦 清徳 長崎大学 医歯薬学総合研究科（医学系）教授

研究要旨

新生児聴覚スクリーニングに用いる最適の機器について調査し、CQI-1「新生児聴覚スクリーニングに用いる最適の機器は何か?」に対するAnswerとして自動聴性脳幹反応(AABR)を推奨する。

A. 研究目的

CQI-1「新生児聴覚スクリーニングに用いる最適の機器は何か?」に対するAnswerならびに解説を作成する。

B. 研究方法

上記に関する多数の文献を調査し、それらを要約した上でエビデンスレベルを評価する。実際には、会議などを通して複数人で議論しつつ分担して行う。

（倫理面への配慮）

文献調査が主で倫理的問題は発生し難い。

C. 研究結果

CQI-1「新生児聴覚スクリーニングに用いる最適の機器は何か?」に対するAnswerとして自動聴性脳幹反応(AABR)を推奨する。

D. 考察

「聴神経難聴スペクトラムでは、内耳機能は正常または正常に近いためにOAEではパス(反応あり)となるものの、聴神経機能は異常であるためAABRではリファア(要再検)となる。このため、初期検査及び確認検査はAABRで実施することが望ましいこと」とされており、スクリーニング初回からAABRが推奨される。

E. 結論

新生児聴覚スクリーニングに用いる最適の機器として、自動聴性脳幹反応(AABR)を推奨する。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表  
別紙 4に記載

2. 学会発表

三浦清徳：第93回日本感染症学会学術講演会 教育講演「HTLV-1の母子感染抑制プロジェクト」2019年4月6日 名古屋  
三浦清徳：第71回日本産科婦人科学会学術集会 生涯研修プログラム3 3)HBV, HCV, HTLV-1 2019年4月12日 名古屋  
三浦清徳：第42回日本母体胎児医学会スポンサードシンポジウム テーマ：周産期と生殖 2019年8月24日 三重

H. 知的財産権の出願・登録状況  
（予定を含む。）

1. 特許取得  
該当なし

2. 実用新案登録  
該当なし

3. その他  
該当なし